

## FGGE データセット利用ご案内

岩 嶋 樹 也

GARP の総決算として実施された膨大な FGGE データは、大気大循環・世界気候に関する研究推進に大いに寄与するものと期待され、その研究成果も発表され始めている。我が国においても気象研究所・国立極地研究所で既に磁気テープデータセットが購入され、それぞれ利用されている。大学関係研究者の利用については、日本

学術会議国際協力事業特別委員会 WCRP 分科会および地球物理学研究連絡委員会気象分科会で討議し、一二の大学でデータセットを保有し共同利用をはかることが、文部省測地学審議会気象水象部会で提案された。京都大学理学部附属気候変動実験施設では、別表の全球観測網観測点データ (Level II b) とその客観解析格子点デー

第1表 京都大学理学部附属気候変動実験施設保有の FGGE データセット (昭和59年3月現在)。

種 別	内 容	期 間	磁気テープ数	TAPE No.(WDC-A. MET.)
II b (準備年)	地上実況気象 海上実況気象 高層実況気象	1978年1月1日0時 ～1978年11月26日18時	66巻 (1,600 bpi)	7.04.1.176—7.04.1.241
II b (実施年)	地上実況気象 海上実況気象 海洋観測 航空機観測 定高度気球観測	1978年11月27日0時 ～1979年12月1日18時	25巻	7.20.1.094—7.20.1.118
			22巻	7.20.1.119—7.20.1.140
		13巻 (1,600 bpi)	7.20.1.141—7.20.1.153	
	高層実況気象 気象衛星	1978年11月27日0時 ～1979年12月1日18時	16巻 (6,250 bpi)	7.20.1.199—7.20.1.214
	特別補足データ	1978年12月1日0時 ～1979年11月30日18時	12巻 (1,600 bpi)	7.04.1.242—7.04.1.253
	熱帯高層風観測システム (TW-OS) によるデータ	1978年12月1日0時 ～1979年10月27日12時	3巻 (1,600 bpi)	7.26.1.001—7.26.1.003
	浮遊パイによる海面気圧気温データ	1978年11月22日 ～1979年12月3日	4巻 (1,600 bpi)	7.27.1.001—7.27.1.004
III b (実施年)	英国 ECMWF による15高度解析格子点データ	1978年12月1日0時 ～1979年11月30日12時	82巻 (1,600 bpi)	7.06.1.001—7.06.1.082
	ECMWF による格子点データ 解析誤差	1978年12月1日0時 ～1979年11月30日12時	6巻 (1,600 bpi)	7.06.1.083—7.06.1.088
	米国 GFDL による解析格子点データ	1978年12月1日0時 ～1979年3月31日12時 1979年4月1日0時 ～1979年7月12日12時 (特別強化観測期間)	87巻 (1,600 bpi)	7.05.1.001—7.05.1.041 7.05.1.062—7.05.1.107

タ (Level III b) が、昭和59年3月末までに購入されている。これらのデータセットを利用ご希望の向きは右記までご連絡されたい。

連絡先：〒607 京都市山科区北花山大峰町 17-1  
京都大学理学部附属気候変動実験施設

岩 嶋 樹 也

TEL. 075-501-4101

## 第22期第16回常任理事会議事録

日 時 昭和59年3月10日 (土)09:50~13:00

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 松本, 嶋村, 杉村, 松野, 竹内, 河村,  
増田, 村山, 田宮

### 議 事

#### 1. 昭和59年度予算 (第2次案) について

担当理事から、国際交流委の予算は、前回の決定で25万円と修正、また予算書の建て方の変更のために、収入と支出の総額で差が生じ、これを「予算組替に伴う差額」という科目を設ける変更をしたことなどの説明があった。

審議の結果、予算書 (案) については、前納会費の取り扱い方を改めることとし、事業科目については「天気」、「気象集誌」など各事業科目毎に分けた組み立て方とすることになった。また、「気象研究ノート」について、増刷は原則として200部とし、その都度業者の入札を行うこととなった。

2. 機関誌等印刷の仕様書案、印刷請負業者について  
担当理事から、仕様書案について、各編集委員に検討され、まとまったことなど説明され、資料のとおり承認された。

また、「天気」および「気象集誌」の59年度印刷の

請負業者については、それぞれの編集委員長と会計庶務両担当理事、事務局を加えて選考のうえ、請け負わせることとなった。

3. 学会賞、藤原賞、山本賞の各受賞候補者について  
前回および今回の推薦者について各理事の投票を求めることとなった。

#### 4. その他

ア. 事務局員の採用について、気象庁観測部高層課気象ロケット観測所勤務の「片桐勝男氏」が採用内定された。

イ. 東京大学出版会からの「天気」および「気象集誌」掲載図面の転載承認について承認された。

ウ. (社)日本放射線技術学会からの当学会定款投稿規定等の資料提供の要請について、承認された。

エ. 第22回粉体に関する討論会からの講演募集案内は、機関紙への掲載依頼について承認された。共催依頼についてはことわることとなった。

オ. 日本工業新聞社長からの第20回全日本科学機器展後援名義の使用依頼について承認された。

承認事項 個人会員桜田正義ほか3名の新規加入が承認された。